


事業番号	05 07 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	がん対策推進事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
		実施期間	H6 ~	E-mail	hoken-shippe@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康寿命				
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・がんを予防する方法について普及啓発し、避けられるがんを防ぐことで、罹患者を減少させる。 ・県民の利用しやすい検診体制を構築し、がんの早期発見・早期治療を促す。 ・がん医療の質の向上、均てん化・集約化を行い、死亡率を減少させる。 ・就労支援等により、がん患者が尊厳をもって安心して生活できる社会の実現を目指す。 【これまでの取組】 ・がん診療連携拠点病院等の整備 ・治療と仕事の両立支援に向けた就労相談事業を実施 ・「がんと向き合う週間」にがん対策事業を実施	
	令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題 ・既指定のがん診療連携拠点病院について、診療機能の維持・向上に向けた取組が必要。 ・女性特有のがんへの対策を「がんと向き合う週間」の取組テーマとしたが、女性特有のがんの受診率が低い。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓がん診療体制の整備・充実 居住する地域にかかわらず等しくがんの状態に応じた適切ながん医療を受けることができるよう、県内二次医療圏すべてにがん診療連携拠点病院等を整備 がん診療連携拠点病院等が診療機能を維持・向上できるよう運営費等を補助	
	✓がん患者及び家族への支援の拡充 県内のがん相談支援センターに社会保険労務士を派遣し、がん患者とその家族に対する就労相談等を実施 小児・AYA世代のがん患者等に対し、妊孕性温存治療費の助成を実施 ※AYA…「Adolescent and Young Adult（思春期および若年成人）」の略	
	✓がん予防の推進 10月15日からの「がんと向き合う週間」にがん対策事業を実施 ・がん対策推進長野県大会（仮）の開催 ・がん対策推進企業連携協定締結企業による、各種イベント、セミナーへの協力 ・各保健福祉事務所主体による管内企業、市町村と連携した啓発活動 がん対策推進企業連携協定締結企業および各種団体に向けた「がん予防研修会」の実施 ・対面による集合形式の開催に加え、オンラインによるWEB開催の実施	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業 コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	がん検診チェックリストの市町村実施率	67.5%	72.4%	↑ 69.9%	↓ 67.5%以上		当初予算	0	208,992	166,446	要求 200,284 予算案 192,687
2	緩和ケア研修会の受講者数(累積)	1,960人	2,509人	↑ 2,600人	↑ 2,800人		補正予算		1,952	0	
3	がん診療連携拠点病院等の機能評価	3病院	3病院	↑ 0病院	↓ 3病院		合計(A)		210,944	166,446	要求 200,284 予算案 192,687
4							うち一般財源		77,864	73,570	要求 74,681 予算案 73,986
5							決算額(B)		210,944		
							職員数(人)		2.2	2.2	2.2

成果指標設定理由	①市町村及び検診実施機関が実施するがん検診事業の精度評価を行い、検診実施体制の充実を図るために成果目標に設定 ②がん診療に携わる医療従事者が基本的な緩和ケアについて正しく理解し、がん患者に適切な緩和ケアが提供されるように成果目標に設定 ③継続的にがん診療連携拠点病院等を機能評価し、県内がん診療体制の質の維持・向上を図っていくために成果目標に設定
-----------------	---

予算要求からの主な変更点	過去の執行状況を考慮し、がん診療施設設備整備事業の補助金額を減額
---------------------	----------------------------------